

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス あおぞら			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 10 月 5 日		～	令和 6 年 11 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和 6 年 10 月 5 日		～	令和 6 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 25 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども・保護者があおぞらを安心して利用できている。	職員一人一人が子どもへの丁寧な支援を心がけている。 お帳面やお電話、送迎時などに保護者とやりとりを行っている。	ご家庭と協力した子どもへの支援、情報共有、研修会等の提供を行う。また、学校や児童クラブなどの関係機関との連携も引き続き図ることで、子ども・保護者が安心して利用できる事業所運営を行う。
2	・事業所内研修会の開催や外部講師による定期的(月1回)な療育指導の機会を確保している。 ・心理士や理学療法士が配置されている。	・研修会の開催や指導の機会の確保はしているが、十分に活かしきれていない部分もあるため、工夫の余地あり。 ・心理士や理学療法士による観察や評価、個別支援の機会がある。	・事業所内研修会の開催、外部研修会への積極的な参加を通して、支援の質向上を図る。 ・心理士や理学療法士とのさらなる連携の体制を検討していく。
3	子ども・保護者支援や、関係機関との連携を行っている。	子育て相談会(年2回)、利用者個別面談(年2回)などを実施している。法人内の病院のリハビリテーション医やリハビリ専門職との連携も図っている。	保護者向けの研修会や、地域の支援者向けの研修会等を法人および事業所で企画・開催して、さらに子ども・保護者支援や関係機関との連携を強化していく。 また、既の実施している取り組みの内容の見直し、改善を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(非常時等の対応の面) ・各種マニュアル等に関する保護者への周知、説明の不足。 ・法令研修会等の年間計画の作成、計画に沿った実施がなされていない。 ・ヒヤリハット体制の不備、不十分さ。	・各種マニュアルの見直し等がなされていない。保護者への周知方法が検討されていない。 ・法令研修会等の計画が作成されていない。 ・ヒヤリハット事例の共有等はあったが、不十分。ヒヤリハット体制が構築されていない。	・各種マニュアルの見直し、修正。保護者への周知手段の検討。 ・法令研修会等の年間計画の作成、計画に沿った実施の遵守。 ・ヒヤリハット体制の構築、強化。
2	(適切な支援の提供の面) 活動立案、打ち合わせ、振り返り、支援計画書作成などが不十分。	・左記を実施する体制づくりがなされていない。	・体制を構築し、チームで取り組んでいけるように実施していく。実施していきながら、改良・改善を図っていく。
3	(業務改善の面) 職員間での情報共有、連携の不足	・朝礼や全体ミーティングの機会はあるが、連絡事項の周知が主。 ・全体ミーティングの機会が少ない。 ・情報共有の手段が不十分。	・ミーティングの機会を増やし(週1回+月1回の実施)、連絡事項の周知だけでなく、全体で事案の検討も行っていく。 ・ノートやホワイトボードなどを用いて、情報伝達、情報共有を確実にしていく。